

## 令和3年度第1回 岡山県医療対策協議会・新たな財政支援制度検討部会【議事概要】

1 日 時：令和3年6月4日（金）

2 場 所：岡山県庁 5階 保健福祉部長室（Web 開催）

3 参加者：別紙のとおり

4 傍聴者：1名（報道関係者）

### 5 議題

（1）令和3年度医療介護総合確保促進法に基づく岡山県計画（案）について

（2）平成26～令和2年度岡山県計画の事後評価について

（3）令和4年度岡山県計画策定スケジュール（医療分）について

※議題（1）については非公開

### 6 議事概要

#### 【非公開】

（1）令和3年度岡山県計画（案）の医療分について、資料に沿って計画内容を説明。当部会での意見を踏まえて必要な修正をおこない、国との最終的な調整後、国へ正式に提出する予定。

当部会での意見を反映させ、本県が令和3年度岡山県計画を取りまとめることについて、委員の承諾を得た。

#### 【公開】

（2）平成26～令和2年度岡山県計画において、事業期間を令和2年度を含めた複数年度で設定している事業及び令和2年度岡山県計画において実施した事業の事後評価についての概要説明。

#### ・質疑応答

松山会長）

新型コロナウイルスの影響を受け、多くの事業が規模の縮小や未実施となっているが、どこの予算でも実施率が低いと次年度の予算が減額されると言われている。新型コロナウイルスの影響でやりたくてもやれなかった上に予算が減らされるのはおかしいのではないかと考えているが、この基金事業についてはどうか。

事務局）

基金は他の予算とは性質が異なり、執行残については翌年度に同じ区分の事業へ充当可能と考えている。ただし、別の区分への流用は禁止されているので、あくまで同一区分内で調整して活用していくことになる。

松山会長）

承知した。その辺りへの配慮はしていただきたいと思う。

山崎委員)

区分2「多剤・重複投与対策に向けた住民啓発事業」に関して、県北地域は高齢化率が高く、薬剤の重複投与は大きな課題であると認識している。今後の取組として、正しい薬の服用について、県民一人一人に問いかけるような手法はできないか。より住民の近くで指導できるようになれば、事業効果がさらに高まるのではないか。

松山会長)

この事業は講習会が主であるが、実際は現場に行ってみないとよく分からない部分もある。今後は現場の薬剤師等にも介入してもらう必要があると考えている。

事務局)

他の事業ではあるが、医師会と薬剤師会に協力していただきながらブラウンバック運動という事業も展開している。患者がいわゆる茶色のバックに処方されている全ての薬を入れ、それを薬剤師のところへ持参し、薬剤師に薬の整理をしてもらうというものである。このような事業もモデル的に実施をしているところであるので、こういった事業も合わせて行いながら、重複投与対策を進めていきたいと思う。

山崎委員)

承知した。期待している。

本部会での意見を反映させ、本県が平成26～令和2年度事後評価を取りまとめることについて、委員の承諾を得た。

#### 【公開】

(3) 令和4年度岡山県計画策定スケジュール(医療分)(現時点での想定)について説明

・ 質疑応答

松山会長)

県計画策定スケジュールについて、近年は概ね計画通りに進んでいるようだが、新型コロナウイルスのこともあり、厚労省も多忙を極めているため、令和3年度の内示については例年より遅れるのではと思われるが、特に新規事業についてはできるだけ早く事業に着手できるようにしていただきたい。

#### 【公開】

(4) その他の質疑応答等

・ 要望

山崎委員)

中山間、島しょ部において医師の偏在化は喫緊の課題であるので、しっかりと取り組んでいただきたい。

以 上